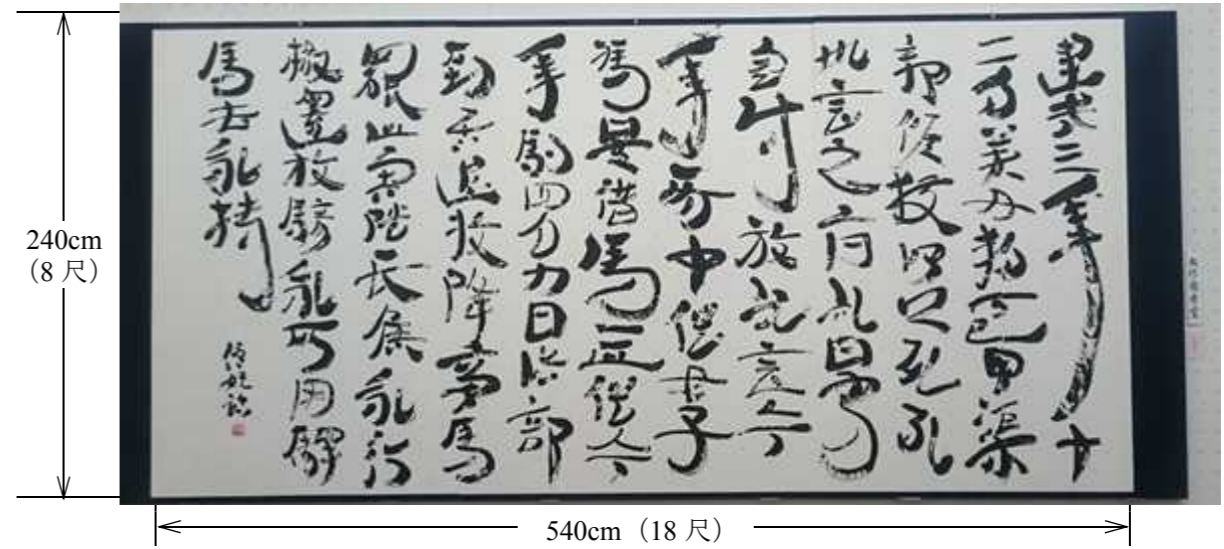


第12回全国高校生大作書道展 大作優秀賞『臨 木簡』 佐藤優妃 さん(書道部)

展示期間 平成30年6月15日(金)～6月21日(木)
展示会場 東京都美術館 (台東区上野公園内)

< 作品全体 >



書道部員とOGの皆さん(佐藤さんは右から6番め)

第12回全国高校生大作書道展で、佐藤 優妃 さん(書道部3年生)の『臨 木簡』が、大作優秀賞に輝きました。

6月16日(土)、書道部全員とOGとで東京都美術館に作品見学に行きました。会場に展示された多数の迫力ある作品に圧倒されました。

審査員の方から、「作品に迫力があり、墨色が美しい」との講評を頂きました。

昨年に引き続き、2年連続の受賞であり、とても嬉しいです。来年もまた、受賞できるよう、後輩部員たちも頑張ってください。[顧問 知見有紀先生]

[作品解説①]

この作品は、作品寸法(縦240cm×横540cm)で、高校生の出展作品としては最大の大きさです。

木簡は、薄く削いだ木の板に文字を書いたもので、古代中国では、紙が普及するまでは木簡が主に用いられていました。

作品『臨 木簡』は、漢時代に使われていた木簡に書かれた文字を臨書しました。木簡は細長い木片に書かれている為、大小の変化に富んでいて、早書きから生まれた躍動感のある文字が特徴です。

佐藤さんが苦心したことは、「躍動感を出すために、文字の縦画に表情をつけること」で、制作に当たってとくに意識したということでした。